

## 指定管理評価表(総合老人福祉センター)

平成31年3月31日現在

<b>施設概要</b>	総合老人福祉センター(尼崎市東難波町4-9-25) 開館時間9:00~17:30(休館日:日・祝・年末年始) 施設設置目的:老人福祉センター特A型 事業内容:老人に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための機会等を総合的に供与する事業を行う。			
<b>指定管理者の名称</b>	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会			
<b>指定期間</b>	平成26年4月1日~平成31年3月31日			
<b>業務概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記事業内容の実施に関する事。</li> <li>・センターの利用の許可、その取消しその他センターの利用に関する事。</li> <li>・センターの施設及び付属設備の維持管理に関する事。</li> </ul>			
<b>利用状況等</b>	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	利用者数	45,730人	47,322人	49,285人
	自主事業数	44事業	46事業	42事業
	自主事業開催数	1,141回	1,159回	1,140回
	自主事業参加者数	28,642人	29,727人	28,821人
<b>所管課・所管課長名</b>	健康福祉局福祉部高齢介護課・西岡 茂晴			
<b>評価対象期間</b>	平成30年4月1日~平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>A</b>	引き続き、利用者のニーズに対応するために人気が高い健康づくりに関する事業を取り入れるなどの工夫を行っており、利用者の満足度は高い。 また、「うたごえ広場」などの気軽に参加できるプログラムも実施しており、利用者の増加に向けた取り組みも行っている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>B</b>	施設の必要な修繕は速やかに実施し、保守、管理についても適正に行われている。 緊急時等におけるマニュアルは整備されており、個人情報の管理についても職員研修を適宜実施するなど対応されている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>B</b>	収支状況は概ね良好である。 また、予算の範囲内で、LED化を促進するなどの節減効果もみられる。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>B</b>	経営改善の途上にあるが、業務の遂行にあたっては、適正に会計手続きがなされており、経営状況についても概ね良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>B</b>	備品管理に係る事務手続き等において、適正に行っている。 内部評価を実施し、各事業の点検を行っている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活相談に関する事業</li> <li>・健康相談に関する事業</li> <li>・教養学習に関する事業</li> <li>・健康増進に関する事業</li> <li>・栄養改善に関する事業</li> <li>・社会参加の推進等に関する事業</li> </ul>	利用者の意向を踏まえて健康づくりや栄養改善のためのプログラムを立案し、高齢者の健康の保持・増進に向けた事業を実施するなどの取組を積極的に行っている。また、新たな利用者を増やすために、オープンスクールを開催して、気軽に参加できるよう事業のPR等も行っている。認知症に特化した事業としては、定着してきた高齢者向けの認知症カフェに続いて、今年度から誰でも気軽に参加し、歌うことができる「うたごえ広場」を開催しており、毎回、好評で参加者も多い。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>B</b>	利用者の多様なニーズに柔軟に対応し、利用者の満足度を向上するため、顔の見える関係づくりを基本に、人気の高い筋力アップや介護予防の体操などに資する新たな講座に転換するなどの工夫を行っているものの、利用者数の増加には至っていない。しかしながら、参加者が自由に歌を歌ったり、簡単な体操などを行う講座は、参加者も多く好評であり、総合老人福祉センターを代表する事業として定着しており、高齢者の社会参加の促進と福祉の向上に寄与している。 引き続き、高齢者の健康増進や生きがいづくり、仲間づくりを促進するとともに、他の老人福祉センターとも連携を図りながら、利用者数の増加とより効果的な事業展開を期待する。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。